



Good Wood Communication!

かけがいの森から



間伐材の行方は 充実してきた資源を活かせるか

需要と供給の価格差と、安定供給体制が課題

先日、ある製紙会社の資材担当の方とお会いしました。その方のお話によると、「これから先、製紙原料として地域の間伐材を集めていく時代が来るのではないかと」ということでした。

間伐材をはじめ木質系材料の需要は、製紙原料、また燃料用

としても、これから高まっていく傾向にあるようです。ますます日本の森林資源が活用されていく時代となるのでしょうか？

「間伐材を山に捨てておくのはもったいない」とよく言われますが、赤字を出してまで搬出・運搬する人はいません。依然として需要側と供給側の価格差が大きく存在しています。



写真の人 大和田 中山武雄さん
「かすり傷はある。でも大きな怪我はしない。」

また、安定的な供給を必要とする需要者に対し、適正な森林計画、資源利用計画に基づいて、資源を安定供給できる体制はまだまだ出来上がっていません。

至近距離！ カモシカとの遭遇談

◎森林組合事務所

専務 「居尻の林道坂角線に変なカモシカがいてさ、近くに行ってもまったく動きゃへんだよ〜」

今橋 「あ、そのカモシカ僕も見ましたよ。僕が見たときは2匹いて、1匹はすぐ逃げて行ったんですけど、1匹はまったく逃げようとしませんよ。」



居尻 林道坂角線にて

ふつう、カモシカは道で遭ったりすると、しばらく逃げて、一旦立ち止まり、黒い目でじっとこちらの様子を初かい、また逃げていく。それが「シャア！シャア！」と鳥のように鳴きながら、崖を一目散に逃げていく。そんな感じが一般的だが、二人が遭ったのはど変なカモシカだったらしい。

専務 「あいつは病気だったのかなあ。石を投げて、それがこつんと当たっても、身動きしなかったもん。角もあるし、さすがに怖いからそれ以上近づけなかったけどな・・・」

今橋 「そうですねえ、病気だったのか、それかかなりの高齢だったのかもしれないですねえ。」

それっきり、その動かないカモシカの目撃情報はないが、いったいどんなカモシカだったのだろうか？

とにかく、すごく至近距離での対面だったようです。

写真の人紹介 中山武雄さん (大和田)

「大きな怪我はしない」を永年実行

先日、中山武雄さんが、新年の県下森林組合の組合長会の席で、永年勤続の功労者表彰を受けられました。平成九年から勤務されて十二年になりました。

普段の口数は多くありませんが、暑い日も寒い日も日々山へ向かう姿からは山への熱意がうかがえます。「山だもん、かすり傷くらいはしょっちゅうさ。でも大きな怪我はしないようにしてる。」を永年実行されています。



表彰後に組合長・専務と並んで記念撮影

市議会議員さんが間伐作業を視察

先日、掛川市議会議員の方々に間伐作業を視察していただきました。急斜面での伐倒作業や、作業路沿いでの間伐材搬出作業を見て、作業の実状を知っていただくことができたのではないかと思います。充実してきた森林資源をどう活かしていくか・・・今後の議論のきっかけになればと感じました。



続 里山を再生 ~再生するのは山と人のつながり~

前回お伝えした千羽地区の里山再生ですが、整備が完了しました。この山は、しばらく人の手が入らず、スギ、ヒノキ、竹、雑木がぐちゃぐちゃに生えて、山へ入ることすら困難になっていました。「きれいな山にして次の世代に引き継ぎたい。」「自分が山に入って遊んだように息子にも山を楽しんでほしい。」と山主さん。そんな山主さんと山の新たな関係を再生するべく、作業に取り組みました。竹は皆伐し、雑木、スギ・ヒノキを間伐。山の中へ入りやすいように幅広い歩道も確保しました。この初期整備をきっかけに、山主さんと山とのいい関係がずっと続いてくれるといいと思っています。



森林組合からのお知らせ

●椎茸菌・苗木の購入 ありがとうございます!

今年は椎茸菌を約 150 袋 (1000 個入) をお買い上げいただきました。また、山行き苗木も多くの方にご注文いただき、3月29日に無事に販売を終えました。お買い上げありがとうございました。来年もよろしくお願ひします! (購買担当 角皆)

●中山忠一さん木工作品展開催される

3月17日より4日間、元職員

の中山忠一さんらの地域材による木工作品展が掛川市立図書館で開



かれ、多くの方が訪れました! 中山さんの作品は森林組合のホームページでも紹介中です!

●ならここ「桜まつり」に出店します!



4月4日、ならこの桜まつりに今年も出店をいたします。木工作品を見に来てくださいね!

●農協青年部さんとの交流

森組職員は昨年度から、ときどき JA 掛川市青年部の皆様・若手職員の皆様と交流を行なっています。同じ1次産業としてそれぞれが抱える課題や将来の目標、様々な施策について意見交換することは、視野を広げる上でとてもためになります。これからも続けていきたいと思っています。

間伐材活用例 ~逆川の護岸工~



逆川地内において、間伐材を活用した護岸工が施工された。間伐材を円柱加工し、環境・水質に配慮した防腐加工がなされている。コンクリートのみの施工より、柔らかな景観を生み出している。

(円柱加工・防腐加工:天竜森林組合)

吉野恵三さんの退職 -----

埼玉県からこちらに就職し、山村境界事業や森の力再生事業で活躍していた吉野さんが都合により退職することになりました。吉野さんがブログに寄せてくれたあいさつを掲載させていただきます。



「私事ですが、一身上の都合により三月をもちまして掛川市森林組合を退職いたします。組合員の皆様、並びに関係機関の皆様には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

埼玉から出てきて六年間仕事させていただきました。山の世界は 見ること聞くと やることが全て新鮮でした。右も左もわからない私がこの世界でやりがいを感じ、楽しく仕事ができたのは組合役職員の皆様のおかげでした。公私ともに多くのことを勉強させていただきました。皆様と出会えたことでとても成長できました。本当にありがとうございました。

掛川は温かく、優しく、楽しい地でした。埼玉に戻りからやり直すことになりましたが、ここで身に付いた全てのものを一生の宝とし、これからの人生に活かしていきたいと思っています。それが、途中で退職する者の皆様にてきる唯一のお返しだと思います。最後になりますが、皆様本当にお世話になりました。皆様のご健康とご多幸とご活躍を埼玉より祈願しております。」



吉野さん、六年間お疲れ様でした!!

二人の職員が就職 -----

男性職員二名が新たに職員として加入します。名前は橋山謙さん、鷺巣皓次朗さん。新卒での就職ということで、掛川の山の仕事で社会人第一歩を踏み出します。皆様よろしくお願ひいたします。二人の紹介は次号にて!

いよいよ春本番。桜の薄桃色、柳の芽の柔らかな黄緑、タンポポの鮮やかな黄色、春は彩りの季節です。それらに、卒業、入園、入学、就職、異動など人生の節目をも彩ってくれます。この春、新たな環境で春を迎えている方々も多いでしょうが、掛川市森林組合でも今年には出会いと別れの春となりました。

春です。出会いと別れの季節です。一人の職員の退職と二人の職員の就職



“これいい!” 購買担当「藍ちゃん」の **オススメGOODS!!**

チップソー 1枚 ¥1,050

草刈に最適!!
切れ味抜群の、山林用のチップソーです。
これから、春夏の草刈シーズンに大活躍すること間違いなし!! 組合職員も愛用中のオススメ品です♪



平成二十一年度

森林整備事業報告

◆山村境界保全事業 (上西之谷地区)

百十ヘクタールの境界確認、杭設置、測量、境界保全図作成が完了しました。地権者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

◆治山事業 (本数調整伐)

県の治山事業による森林整備ですが、本年度は上西之谷地区において実施され、七十三ヘクタールの本数調整伐が施工されました。

◆森の力再生事業 5地区

黒俣、上西郷、初馬、千羽、上西之谷の五地区で合計八十五ヘクタールの間伐を施工し、同時に作業路整備等を行いました。大和田トンネル南側の西郷県道沿いが明るく整備されたのは、本事業によりです。

※施業した場所をホームページの「施業履歴」で確認していただけます。近日更新予定です。

組合員さまへのお願い

相続等で所有山林に移動(相続・取得・売却)が生じた際は森林組合へご一報ください。組合員名簿および出資証券の名義変更が必要です。

ひとこと 上西之谷で間伐作業中の康徳さんがシカの角を見つけました! 長さ50cm位の立派なシカの角。硬く、ずっしりとしています。これはニホンシカの角だと思われませんが、ベテラン従業員に聞くと、昔このあたりには鹿はいなかったとの話。林道丹間線や林道坂角線でもニホンシカが目撃があり、動物の分布が少しずつ変わってきているようです。

